



MIT-Ronden

舗装路厚の計測用 堅牢小型リフレクター(反射板)

道路工事において舗装厚を測定する電磁渦電流方式では、逆極としてリフレクター（反射板）の埋設が必要です。アスファルト舗装の測定のためには、アルミニウム製プレート又は、アルミニウム製シートをリフレクターとして使用します。コンクリート舗装の測定の場合は、強化スチールプレートを使用しなければなりません。リフレクターは道路工事の際に測定する舗装の下部に埋め込まれます。リフレクターには、様々な種類があります。

標準リフレクター

標準の長方形型リフレクターは、通常長い辺が道路の端から 1 m の場所に平行に埋め込まれます。測定場所でのリフレクターの間隔は最低 1 m となります。実際の現場では、間隔はそれより長いことが一般的です。

MIT 丸型リフレクター

MIT 丸型は、コンパクトなサイズです。3 種類の異なる径があり、一番大きい径は 30 cm となっています。MIT 丸型リフレクターの場合、リフレクターの間隔は最低で 1 m ですが、サイズが小さいため測定場所の長さは極めて短くなります。

リフレクターの特質が測定に与える影響

リフレクターの特質、つまり材質、長さ、幅、厚み、変形率は、測定に影響を与えます。基準形状からの逸脱は、様々な測定エラーを引き起こす可能性があります。この測定エラーは、リフレクターの長さの違いが与える影響より、幅の違いが与える影響の方が大きくなります。基準寸法より小さかったり、シートが損傷している場合、測定において、リフレクターの設置の際にシートに皺が出来たりします。特に、シートの厚みは機械的な安定性や、損傷しやすさに大きな影響を与えます。シートの表面が波状になっている場合や、シート面の平行性に問題がある場合は、舗装厚の中間の深度が表示されます。

MIT 丸型リフレクターの特長

道路工事において、リフレクターは工事車両やアスファルト打設により大きな負荷を受けてしまいます。この負荷は、研削された面や、コンパクトアスファルト舗装、排水性アスファルト舗装、砕石マスティックス舗装の打設において、顕著です。MIT 丸型リフレクターは、こんな場合でも、損傷することなく、お客様の要望に対応することができます。丸型リフレクターは設置が容易で、舗装機械を使用する直前に敷設されるので、アスファルト工事車両により損傷を受けることはありません。

打設された舗装厚を、舗装機械が作業した直後に、まだ熱いアスファルト上で高精度な測定をすることが可能であるため、丸型リフレクターは、舗装機械使用時の測定に最適です。

このリフレクターを使用することにより、測定距離が短くなるため、道路の一箇所の層形成を測定するという要求に応じられます。

MIT 丸型リフレクターは小型で、剛性に優れているので、自動舗装と同時に完成プロセスにおいて打設された舗装厚を測定することが可能です。



コアサンプルを使用する測定に比べて、シートを使用する測定方法は、舗装厚が正しく測定できない恐れがあります。

MIT 方式では、シートの破損度（係数 0.36）が測定エラーの原因として証明できます。

MIT 丸型リフレクター AL RO 07 は、研削された面でも変形しません。コアサンプルは、MIT-SCAN-T2 のサーチモードで中央揃いさせることができます。

型名	ディスプレイの表示	最大深度	詳細	使用分野
AL RO 07	AL O 7	12 cm	円形プレート 直径：7.0 cm 材質：Al 1.0 mm	表層
AL RO 12	AL O 12	18 cm	円形プレート 直径：12 cm 材質：Al 1.0 mm	表層+バインダー
AL RO 30	AL O 30	35 cm	円形プレート 直径：30 cm 材質：Al 0.5 mm	支持層

MIT Mess- und Prüftechnik GmbH
Gostritzer Straße 61-63
D-01217 Dresden, F.R.Germany
Tel +49 (0) 351 871 81 25
Fax +49 (0) 351 871 81 27

www.mit-dresden.de
info@mit-dresden.de

販売元：
ITEC CONSULT GMBH + CO.KG
Höglwörther Str. 1
D-81369 München, F.R.Germany
Tel +49 (0)89-74361-0
Fax +49-(0)89-74361-292

E-Mail info@itec-online.com